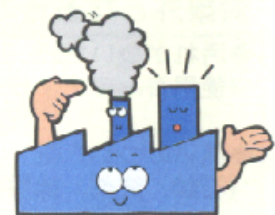




ちょっと一息…

「エコロジー」と「エコノミー」の微妙な関係 ご存知ですか？

- 巷に「エコ」という言葉が溢れていますが、「エコ」って何かご存知ですか。一般的に自然にやさしいこと全般を示す言葉として、「エコロジー」（生態学・生態系）を短縮した「エコ」が使われていますが、実は意外と奥の深いうちが隠されています。
- 「エコロジー」の語源を詳しくたどってみると、もともとギリシャ語の「オイコス」（家）と「ロゴス」（考える）をあわせた造語で、本来は「家について考える」ことを意味するものだったようです。
- 言い換えると、「家」が居心地よい状態にあるよう心配りすることが「エコロジー」のはじまりといえます。例えば、ごみで溢れた「家」は決して居心地よいものではありません。「家」を居心地よくするために、定期的に家のごみを片付けて、清潔に保つだけでなく、ごみ置き場の管理などにも気を配らなければなりません。こうした考え方を私たちの住む「自然環境」や「社会」に拡大したものが今使われている「エコロジー」という訳です。
- さて、私たちの生活に深く関わっているもうひとつの「エコ」、「エコノミー」（経済）という言葉も、実は「エコロジー」と同じくギリシャ語の「オイコス」（家）と「ノモス」（管理・ルール）という言葉からできた造語で、本来は「家を管理する」こと、また、「家を管理するためのルール」といった意味から出発した言葉だそうです。
- 「エコロジー」も「エコノミー」も、ともに「家」＝「オイコス」を語源に持つ言葉で、ともに居心地のよい「家」のあり方を目指しています。
- 二つの「エコ」の微妙な関係を、私たちが生活の基本としている「家」に置き換えて、私たちが現在生きている「環境」や「経済」が本来どうあるべきなのか、また、私たち一人ひとりがどのように行動したらよいのか、あらためて考えてみてはいかがでしょうか。



ごみの減量・リサイクルに役立つ情報をお待ちしてます。!

平成17年度に発行を開始した3Rニュースも今年度で3周年を迎えます。3Rニュースでは、市民の皆さんが日々行っている、ごみの減量・リサイクルに向けた取り組みについても広く紹介していきたいと考えています。ごみの減量・リサイクルに役立つ情報、町内会等で行っているユニークな取り組み等ございましたら環境局廃棄物政策担当までどしどしお寄せください。

ごみ減量・リサイクル推進の ボランティアリーダー

廃棄物減量指導員にご協力ください。

廃棄物減量指導員は市長から委嘱され、ごみ排出方法の遵守指導や、ごみ減量の普及啓発などの活動を行っている地域のボランティアリーダーです。



編集後記

先日、中国の留学生50名ほどを相手に川崎市の廃棄物事情をお話する機会がありました。講義が始まる前はワイワイガヤガヤ、普通の学生さんだと思いました。講義が始まるとたくさんの熱い視線が私に突き刺さります。思わず一瞬たじろぐ私。自分が学生だった頃、こんな熱い視線を教壇に送ったのだろうか。負けるものか。こちらも熱くなって思い切りごみ事情を語ってきました。帰り道、寒風が熱くなった頭を冷やしてくれて気持ちのよい一日となりました。（K）

編集・発行／〒210-8577（住所はなくても届きます）川崎市環境局廃棄物政策担当

（電話）200-2580（電子メール）30haise@city.kawasaki.jp

ごみ・リサイクルに関するHP/<http://www.city.kawasaki.jp/30/30genryo/home/menu.htm>

R100
資源100%再生紙 100%再生インク使用

—— もったいないからはじめよう！ チャレンジ・3R ——